

対応状況報告書

大 学 名： 宮崎大学

評価実施年度： 令和3年度

報 告 年 度： 令和4年度

対象となる基準	基準5－3
改善を要する点	○農学工学総合研究科において、博士後期課程の実入学者が入学定員を大幅に上回っている。
対応状況	上記の改善を要する点の指摘に対して、令和3年度に農学工学総合研究科運営委員会では対応措置を検討の上、合格候補者数を定員の130%未満とすることを明記した『宮崎大学大学院農学工学総合研究科の入学試験に係る募集の実施及び合格候補者の決定に関する要領』の案を作成し、同年度の農学工学総合研究科 専攻会議を経て、農学工学総合研究科委員会で決定した。 また、全学のアドミッション専門委員会において各学部・研究科に対して機関別認証評価の基準5に沿った『学生の受入に関する自己点検評価』の実施を依頼し、現在実施中である。 これらの取組を実施したところ、令和4年4月入学者は定員16名に対し15名となり、入学定員充足率は93.75%で、現時点では改善が図られている。ただし、5年間（H30～R4）の平均では131%であり、基準を満たしていないことから、引き続き改善を行っていくこととしている。 【根拠資料・データ】 【根拠資料01】 宮崎大学大学院農学工学総合研究科入学試験における募集の実施可否ならびに合格候補者の決定要領 【根拠資料02】 学生の受入に関する自己点検評価の実施について（依頼） 【根拠資料03】 認証評価共通基礎データ様式【大学用】様式2（令和4年5月1日現在）（農学工学総合研究科）

(注)

1. 機構で受けた大学機関別認証評価において、「改善を要する点」として指摘された事項の対応状況について記入してください。

2. 「改善を要する点」には、評価結果報告書の「Ⅱ 基準ごとの評価」の【改善を要する点】に記載された内容をそのまま転記してください。
3. 「対応状況」には、「改善を要する点」として指摘された事項に関して改善された状況の具体的な内容及びその改善を実現した取組について、根拠資料・データ等とともに「対応状況」欄に記入してください。
4. 根拠資料・データ等は、その名称を記載のうえ、別添として添付してください。評価結果の追記公表の際に併せて公表しますので、資料番号については、既存資料と重複しないよう、既存資料の資料番号以降の連番としてください。
5. 評価を受けた年度の翌年度を一年度目として起算した場合の三年度目の6月30日までに改善していると判断していない事項については、対応状況欄にその旨のみを記載してください。

対応状況報告書

大 学 名：宮崎大学

評価実施年度： 令和3年度

報 告 年 度： 令和5年度

対象となる基準	基準 5－3
改善を要する点	○農学工学総合研究科において、博士後期課程の実入学者数が入学定員を大幅に超えている。
対応状況	上記の改善を要する点の指摘に対して、令和3年度に農学工学総合研究科運営委員会で対応措置を検討の上、合格候補者数を定員の130%未満とすることを明記した『宮崎大学大学院農学工学総合研究科の入学試験に係る募集の実施及び合格候補者の決定に関する要領』を制定した。 全学のアドミッション専門委員会において各学部・研究科に対して機関別認証評価の基準5に沿った「学生の受入に関する自己点検評価」を実施し「実入学者数が入学定員に対して適正な数となっていること」の基準において、令和4年度の入学生は定員16名に対して18名、入学定員充足率は112.5%であった。令和5年4月の入学者は定員16名に対して11名、入学定員充足率は68.75%であることを確認し、改善されている。また、今後は、令和5年10月入学定員を注視することになっている。 【根拠資料・データ】 【根拠資料01】 宮崎大学大学院農学工学総合研究科の入学試験に係る募集の実施及び合格候補者の決定に関する要領 【根拠資料02】 認証評価共通基礎データ様式【大学用】様式2（令和5年5月1日現在、令和5年10月1日見込）（農学工学総合研究科） 【根拠資料03】 令和4年度学生受入に関する自己点検・評価実施報告書

(注)

1. 機構で受けた大学機関別認証評価において、「改善を要する点」として指摘された事項の対応状況について記入してください。
2. 「改善を要する点」には、評価結果報告書の「Ⅱ 基準ごとの評価」の【改善を要する点】に記載

された内容をそのまま転記してください。

3. 「対応状況」には、「改善を要する点」として指摘された事項に関して改善された状況の具体的な内容及びその改善を実現した取組について、根拠資料・データ等とともに「対応状況」欄に記入してください。
4. 根拠資料・データ等は、その名称を記載のうえ、別添として添付してください。評価結果の追記公表の際に併せて公表しますので、資料番号については、既存資料と重複しないよう、既存資料の資料番号以降の連番としてください。
5. 評価を受けた年度の翌年度を一年度目として起算した場合の三年度目の6月30日までに改善していると判断していない事項については、対応状況欄にその旨のみを記載してください。